



東北高校サッカー一部後援会便り

第3号

BOA SORTE

(ボアソルチ/ポルトガル語 幸運を！)

東北高校サッカー一部後援会
平成27年10月号
(10月19日発行)

例年よりも早い紅葉に秋の深まりを感じるこの季節、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より後援会活動に格別のご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。いよいよ、今年もまたこの大会がやってまいりました。冬の始まりを感じる凛とした空気に響きわたる、テーマソングを耳にすると、それぞれの想いや思い出が湧きあがってくることでしよう。高校総体に続いて連覇を目指す、我らの東北イレブン！2回戦10月25日（日）初陣。

2週間に渡り、宮城代表の座をかけて戦いぬきます。今年のチームはここ例年になく、東北高校らしく、果敢に走りきれぬチームです。インターハイ初戦敗退という結果をうけとめて、そこから再スタートをきったこのチーム。選手たちの心意気、成長を感じに是非足をお運びください。後援会役員一同、心よりお願い申し上げます。 会長 酒井陽介



県高校サッカー 24日開幕！

東北	県A10.00	}	}
仙台工	県B10.00		
泉	県A10.00	}	}
明成	泉10.00		
仙台育英	宮11.00	}	}
東北学院	県C10.00		
仙台二	県B11.00	}	}
仙台南	県A10.00		
仙台一	県B10.00	}	ユ13.30
宮城工	県B10.00		
仙台三	県B12.30	}	}
塩釜	県A12.30		
名取北	県B13.30	}	}
仙台城南	県C12.30		
利府	宮13.30	}	}
多賀城	泉12.30		
仙台商	県A12.30	}	}
富谷	県B12.30		
仙台西	県A12.30	}	}
聖和学園	県A12.30		
	1010101111		
	月月月月月		
	24253137		
	日日日日日		
	ユ…ユアテックスタジアム仙台		
	宮…宮城スタジアム		
	県A…県サッカー場Aグラウンド		
	県B…県サッカー場Bグラウンド		
	県C…県サッカー場Cグラウンド		
	泉…泉総合運動場人工芝		

第94回全国高校サッカー選手権県大会の組み合わせが決まった。6月上旬の県総体の8強と、7月の1次予選を突破した12校の計20校が出場。10月24日からトーナメントで争う。優勝争いは県総体覇者の東北、6月下旬の東北選手権で準優勝した聖和学園が中心で、仙台三、宮城工なども上位進出を狙う。決勝は11月7日、仙台市泉区のユアテックスタジアムで行われる。優勝校は12月30日に首都圏で始まる全国大会に出場する。

〈参照元〉9/20河北新報朝刊

※裏面もぜひご覧下さい



今年も後援会オリジナル
「ネックウォーマー」販売します！



集大成 最後の大会にかける3年生 31名の声 (その1)



松野健一 (長町中)

①気配り。②もちろん走り勝つところ。③声出して盛り上げる！時にはギャグとばしてがんばります！

質問の内容

- ①自分の得意なこと、長所
- ②今年のチームの魅力
- ③チームの為に出来ること

佐々木逸斗 (蒲町中)

①インターセプト②一体感③声をかえあいコミュニケーションをとることです。よろしくお願いします！



畠山大輝(グロースFC)

①90分間走れる体力②一体感です③一人一人が意見を出し合い上を目指して話し合うことです。



佐々木拓弥 (金旭中)

①長所は謙虚に話を聞いて実践すること②学年を問わず一体感があること③声かけをしてリスクマネジメントをすること。



酒井雄仁 (仙台中田SC) ①泥臭く、ボールをカットし中盤や前線に良いボールを当てる②全員でボールを奪いチーム全員で攻めに行く。全力で走る③個人的に自分自身変なミスが多いので緊張しすぎずに安定したプレーをこころがけます。



小野寺悠貴 (ベガルタ仙台) ①ドリブル。堅守速攻の中にドリブルで一つ違う流れを作れるように頑張りたい。ゲームキャプテンとして、いい雰囲気です試合に入れるようチームを活気づけたい②日頃から走ってきた走力カウンター③総体チャンピオンになったことで、今までのがむしゃらさが試合にだせなくなってきたのでそこを3年でチームを引き締めたい。



永原光我 (FC・ASAS上尾) ①パス精度がいい②チーム力、粘り強さ③メンバーのサポートをすることです。



笠原駿 (古川北中)

①裏への飛び出しです。②最後の最後まで走り切れるところ③個人、チームの弱みをカバーするためにできることはロングボールを蹴らせないような前線からの守備



安附尚哉 (蒲町中)

①競り合い②層の厚さ③空中戦では自分が率先して競る



今野秀人 (成田中)

①運動量②最後まで走りきる走力と粘り強く諦めないこと③チームで団結しみんなで声を出し続けることです



集大成 最後の大会にかける3年生 31名の声 (その2)

質問の内容

- ①自分の得意なこと、長所
- ②今年のチームの魅力
- ③チームの為に出来ること



及川雅弥 (名取一中) ①ロングキック、コーチング
②チームの先頭に立っていくこと③チームの武器は誰が抜けても変わらずに東北らしく試合ができることです。④辛い場面でもチームを引っ張っていくように声を切らずコーチングを続けることです。



大久保亮 (FC FRESCA)
①諦めずに努力を続けられること。②団結力の強さ③試合に出れても出れなくても必死に努力することだと思います。



竹内健人 (FC ASAS上尾) ①足の速さと俊敏性②その足の速さと俊敏性を生かした全線からの守備です。③武器は、ゴールキーパーの正確なパントキックからのカウンター、強みは90分間走りきれる持久力④身長が低くて競り合いであまり勝つことが出来ないで、その分人よりも多く走って攻守で貢献したいです。



松島瑠加 (仙台フェニックス) ①長所は身長を生かしたプレー②役割はうるさい位に声を出す③全員サッカー④みんなで声をかけ合い協力すること



鈴木悠真 (ベガルタ仙台) ①パントキックでカウンターの起点になること②ハードワーク、パスワークがチームの武器③チームの弱さは声が少ないことなので、最後尾から声を張りチームを鼓舞したいと思います！



桑原啓輔 (成田中) ①明るさ。②攻守の切り替えが早い事③相手よりも走る事です



池淵栞 (成田中)
①マネージャーとしてチームに貢献②技術&気持ちの強さ
③自分の出来る限り全力でチームのサポートします。



沼田正雄 (塩釜FC) ①最後まで諦めずやること②今年ケガをしてもう選手として活躍は厳しいので、チームの為にサポートだと思っています。③チームの強固な団結力④メンバーの人達にはベストなコンディションで臨んで欲しいと思っている。力になれるように全力でサポートしたいと思っています。



奥寺響 (ヴァンラーレ八戸) ①ドリブルで前へと仕掛けることです。②走り負けないことと③声を出してまとまることです。④うまくいかなかったところをチーム全員で話し合い、解決し、次へと繋げるようにします。

集大成 最後の大会にかける3年生 31名の声 (その3)

質問の内容

- ①自分の得意なこと、長所
- ②今年のチームの魅力
- ③チームの為に出来ること



菊地瑠伊 (ヴェルディSS岩手花巻)
①攻守どちらにも関わられる体力②選手層の厚さ③短所をカバーする為には、自分の役割を全力でやる事です。



古仲正太郎 (グローブFC) ①FWとしてヘディングでロングボールのポイントになること②運動量が高く



高橋智也 (将監中) ①なにがなんでも最後までやりきるところ②チームが勝てるよう全力でプレー。サポートしたいです。③堅守速攻です。④ひたすら走る事です。宜しくお願いします。



伊藤貴海 (ベガルタ仙台) ①声を出すこと②勢い③失点をしてから勢いが落ちてしまうことだと思う。声をかけあって盛上げる



三浦海 (FCみやぎ) ①たまに見せるミラクルプレー②チーム力が高いこと③声をみんなで出し合って明るくやって



三浦凌太 (FCみやぎ) ①身体能力を活かしたプレー②粘り強いプレー③声を出す



菅原俊 (ACアズーリ) ①体の強さでしっかり体を当てボールを取って前線に繋ぐこと。②運動量が多く走り負けない強さがある。③一人一人が集中して全力尽くすことです



山田 翔也 (FCみやぎ) ①パスとドリブルを使い分けながら積極的にゴールを狙うところ②1人1人の、個性をだし毎試合最大限プレーできることです。③うまくいかないことをみんなでカバーしながら、全員が同じ目標に向かってがんばる事です。



岡田将人 (FCみやぎ) ①スルーパス②団結力③一人一人が声を掛け合い意見を出し合うことです。



根本大志 (HS) ①キック精度②団結力③ひとりひとりが声をだしコミュニケーションをとる



畑淳貴 (白銀南中) 一丸となって優勝をめざす!



川奈マリア (日吉台中) ①チームにどんなことがあっても、選手のことを誰よりも応援し続けること。②グラウンドに立つ選手だけではなく、チームに関わる全ての人がひとつになって戦うところ。③自分にしかできないことで手を貸す。弱さをではなくその人の強みを引き出してあげる。

県高校サッカー 直前スペシャルインタビュー
大会前の スタッフ&最後にかける3年生たち の声を集めました！

《小野監督スペシャルインタビュー》※10月初旬にヒアリングしました。



Q1：選手権を迎えるにあたり、チームの現状は？

A1：県リーグも大詰めを迎えています。一旦チームをニュートラルな状態にばらしています。理由は全員にチャンスがあると思って欲しい為。夏のメンバーがそのまま選手権に出るとは限らない。チームコンディションに問題はなく、ベストに近い状態で選手権に挑めます。

Q2：インターハイ初戦敗退。夏から今大会までのテーマ、課題などを教えてください。

A2：このチームで全国で戦ってみて、極端なレベルの差は感じませんでした。インターハイからこれまでの期間、勝ちきることの出来なかった僅かな差をうめるべく精神面の強化を心がけてきました。選手たちに「俺達でもやれる、出来る」ともっと自信を持ってプレーしてくれることを期待しています。

Q3：小野監督にとっての高校選手権とは？

A3：高校サッカーを象徴する最高の舞台。国立開催でないことが残念ではあるが、最高ステージであることに変わりはない。

Q4：ズバリ！今年の選手権への意気込みを教えてください。

A4：勿論、優勝。一戦一戦に集中する事が、優勝に繋がることを選手達と共有しています。

《近江部長 スペシャルインタビュー》



Q1：近江先生にとって「選手権」とは？

A1：選手達と同じく私にとっても「憧れの舞台」。言葉では表現しづらいですが、高校サッカーならではの独特の空気感は格別なもの。

Q2：昨年、還暦をむかえられました。（おめでとうございます！）

30年以上携わってこられた《東北高校サッカー部の魅力》を教えてください。

A2：最後まで諦めず走り抜くチカラ。仲間を想う気持ち。このふたつが重なったときに生まれる強固なチーム力がこのサッカー部の魅力。志高い多くの卒業生たちと同じ目標に向かって培われてきたからこそ『伝統』と感じています。

Q3：東北高校サッカー部サポーターに一言お願い致します。

A3：親の会、後援会、OB、応援していただける皆さんと、選手たちが一体となっこそ優勝を勝ち取ることができます。今年もご声援、宜しくお願い致します。

チームを影で支える コーチ三銃士 にも聞いてみました！
(伊藤光二郎コーチ、柿沼秀幸コーチ、樋口健太郎コーチ)

【伊藤コーチにとっての、選手権とは…】

私が現役のころは、全く手の届かない憧れの大会ですね。高校生のころは、2年の時に、1次予選をやっと勝ち抜いて、決勝トーナメントに出たきりですから(汗)今の私にとっての選手権は、「生徒を成長させてくれる場。あのステージに行ける喜びや感謝の気持ち、また、緊張感や達成感はなかなか体験できないもの。ピッチにたつイレブンもさることながら、特別な大会に参加、関われる部員全員が成長を感じるこのことができる貴重な大会。



【東北高校サッカー部サポーターへひとこと】

私自身が東北高校サッカー部のファンでした。いまはスタッフとしてこのチームに関わっていることに喜びを感じています。今後もより一層、東北サッカー部を暖かくそして時には厳しく応援いただけたら幸いです。皆様に気にかけていただくことがチームの成長につながると思っています。今年もあついで声援よろしくお願ひいたします！

【柿沼コーチにとっての選手権とは…】

支えて下さった方々への感謝を表現する大会

【東北イレブンをナショナルチームに例えたら…☆】

守備、攻撃共に数的優位を作るという意味でドイツ、期待しましょう♪

【サポーターのみなさんへひとこと】

選手、チーム、メンバー以外の生徒たちを信じ、最後まで応援よろしくお願ひします！



【樋口コーチにとって選手権とは…】

やっぱり、憧れの大会。選手権に出場する為に三年間、汗を流し、歯を食い縛りながら頑張っていると思います。それだけ大きなステージ。僕も現役のときに出場することができました。叶うことならもう一度挑戦してみたいですね！



【最後の大会に挑む、三年生に一言お願ひします】

新チームスタート時、自分達の力を思うように発揮する事が出来なかったと覚えています。しかし、その経験を日頃の練習に落とし込み、地道に積み重ねた結果がインターハイ出場でした。そこに甘んじず、選手権で優勝できれば、真の宮城県チャンピオンです。共に戦う気持ちが日々高まっていることに期待しています。試合に出る選手だけではなく、応援し、支える選手が一体とならなければ勝利を勝ち取れません！最高の選手権にしましょう！

【サポーターの皆さんにひとこと】親の会、後援会、OBの方々に良い結果報告が出来るように私自信も出来る事を最大限頑張ります！このチームに必要なエネルギーは皆さんの「声援」です。試合会場でのご声援を何卒、宜しくお願ひ致します！

OBから生徒たちへ ～ 応援メッセージ ～

平間智和（38歳、元横浜マリノス、現日本サッカー協会所属）

自分が一番後悔していることは2年時の選手権決勝。全国に出ればかなり上位に入れる可能性があったので。高校時代にもっともっと真剣にサッカーを努力すればよかった。努力するやつ、頑張るやつの周りには、素晴らしい人間があつまる。これだけは強く伝えます。

『悔いはこのころし、思い出ものころ。楽しむなんてにげないでガチガチに勝負してほしい。』



村田純平（33歳、ソニー仙台FC所属）

高校時代の一番の思い出は大衡村で行った練習試合で負けたあと、帰りのバスに乗せてもらえず走って帰らされたこと。きつかったな～（笑）自分たちの代で選手権に行けなかったことは今でも悔いが残っています。これまで、天皇杯やJFLでたくさんの試合に出場してきましたが、選手権はそのなかでも特別な大会でした。最高に燃える大会です。あの雰囲気は選手権以外にありえません。悔いは残しちゃダメ！！これまでのことを一度、思い返してぶっ倒れるつもりで勝利をv



今野泰幸（32歳、ガンバ大阪所属）

1番の思い出は大森森先生にけつを蹴られたこと（笑）。1年時の新人戦途中出場する際、ゆっくりすね当てをつけて準備してたら...めっちゃへこんで試合では何もできなかった。楽しい思い出は、選手権全国大会で3回戦に勝った次の日に1日オフになって八景島シーパラダイスで遊んだこと。*ちなみに次の日負けました。高校時代で後悔していることはない。努力した。やりきった。しいて言うなら、青春がサッカーだけだった。もう少し遊びたかった（笑）3年間で得れたものは、努力は報われるということ。はじめは全然試合に出してもらえなかったが出来るようになったし、選手権で結果を出せた。現状はガンバ大阪というビッグクラブでいいプレッシャーを感じながらプレーできている。少しでも気を抜いたら若い選手にポジションを奪われるという中、試合に出れて充実している。展望としては現役を長く続けたい。必要としてくれるクラブがあれば、J2でもJ3でもプレーしたい。目標は40歳。代表復帰については考えていない。まだ体力が衰えていないが、代表に対する気持ちは薄れている。というのも、代表という場所は相当な覚悟がないといけない場所で中途半端な気持ちではいられない場所。そういう意味でその覚悟を決める気持ちが薄れている。*そのくらい大変な場所なんだよ。選手たちへ。昨年も言ったと思うけど同じことを伝えます。やっぱり大事なことなのでしょう。今まで練習してきたことをすべて出してください。サッカーは1人ではなくチームスポーツだから、スタメン、ベンチ、サポートスタッフ、応援、すべてが一体となれば、勝つ雰囲気になると思います。

＝編集後記＝

年に2回の予定でこのような「東北高校サッカー一部後援会便り」を発行しております。さて、今回の内容はいかがでしたでしょうか？少しでもこのチームを通して、様々なご興味のきっかけとなることが出来ましたら幸いです。

選手権初戦の1週間前に皆様のお手元へお届けしたかったのですが、役員一同、本業の傍らインタビューに出かけたり、コメントをいただいたりと奔走し、なんとか発行することが出来ました。少々、遅くなってしまったことをお詫び申し上げます。そして、ご協力いただいたスタッフ、生徒、OBの皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。今後は更に内容の濃いお便りを発行できるように努めてまいります。チーム、選手のことだけではなく、この東北高校サッカー一部に関わる方々の情報（例えば、OBが働く居酒屋や、関わる皆様にとって有益なこと）なども盛り込んでいきたいと考えております。

今後とも東北高校サッカー一部後援会活動に対しまして、どうか変わらぬご支援を賜わりますよう、重ねてお願い申し上げます。スタジアムでお会いできることを楽しみにしております。全員の生徒がそれぞれの立場で取組む『全力蹴球』を期待して、サポートする気持ちをあわせて声援を送りましょう！最後までお読み頂きまして有り難うございます。

後援会便り3号発行チーム 酒井陽介、佐藤聡也、岡部貴大、石川翔平



《後援会オリジナルネックウォーマー販売開始》

この季節に嬉しい、あったかい♪ 応援グッズ
チームカラー、伝統とプライドを示す「濃紺」、
最後まで走り抜く勇気を示す「白」、を基調とした《東北》を象徴するグッズを身につけて一緒に
熱いエールをおくりましょう！通常¥1,500
後援会会員につきましては¥1,000にてお買い求めいただけます。（どなたでも購入可能です）

※購入ご希望の方は事務局の佐藤聡也までメールにてご連絡ください。試合会場で受け渡しさせていただきます。（会員一人一個まで¥1,000）

《お申込・お問い合わせ先》

yc-iwanuma@minyu-net.com 080-5224-3372



ホームページQRコード
<http://tohoku-hs-fc.com>

＝＝今後の予定＝＝

《県大会》

10月25日（日）二回戦

10月31日（土）三回戦

11月03日（祝）準決勝

11月07日（土）決勝

《選手権》

12月30日（水）開会式

12月31日（木）開幕

～1月12日（土）決勝

《初蹴りイベント》

1月中に恒例の後援会主催
初蹴りイベントを開催予定